

# YOSANO

広報よさの

No.140



## 今月の表紙

田んぼの教室 稲刈り体験

(9月23日撮影)

## ●主な記事

- 02 特集 小・中・高・大学生の活躍を紹介
- 13 桜プロジェクト始動
- 20 海の京都 クルージングフェスタ

10  
2017



さまざまな舞台で活躍した

小学生・中学生・高校生・大学生を紹介します！

全国大会や近畿大会で活躍したみなさんに、大会への意気込みや振り返りについてインタビュー。競技や作品への想いを語ってもらいましたので、その様子をお伝えします。

第 56 回「下水道いろいろコンクール」  
作文部門 高学年の部 入選  
たなか ちひろ  
田中 千紘 さん(与謝小学校 5年)



「1年生の時から作文を書くことが好きで、楽しいなと思っていました」と話す田中さん。普段作文を書くときは、2日間ほどかけて自分で書くようにしているといい、「書けたときは達成感がある」と笑顔で語ってくれました。

京都府内では最優秀賞に輝き、今回の全国コンクールでも入選を果たした作文「水のマジックショー」。環境学習の一環で、昨年宮津湾浄化センターを見学したときに感じたことを書いたもので、汚れた水がそこで働く人やごみを分解する微生物の働きによってきれいになる様子が「まるでマジックみたいだった」と感じたことからタイトルに決めたといいます。

「京都府では自分の作文が1番になってうれしかった。まさか全国でも入選できるとは思っていなかったのびっくりした」と、府内では654点の中から1番に輝き、全国でも492点の中から入選を果たした喜びを語ってくれました。

全国中学生ウエイトリフティング選手権大会  
『SUZU CUP 小学生ウエイトリフティング  
交流大会』  
40 kg級 優勝  
しもむら あいり  
下村 愛里 さん(与謝小学校 6年)



小学5年生の冬、兄のウエイトリフティングの試合を見たことで興味がわいたといい、現在はバレーボールをやりながら、トレーニングの一環として週に2日ウエイトリフティングに励んでいるといいます。

「ウエイトリフティングの練習はしんどいこともあるけど、楽しいから続けていこうと思っている」と話してくれた下村さん。今回が初めての大会出場にもかかわらず、小学6年生ながら中学3年生を相手に見事全国優勝を果たしました。

普段から本番をイメージしながら練習に取り組んでいるといい、「落ち着いて失敗ないように、練習してきた力を出そうと思っていた。大会では、自分の力を出しきることができた」と、華々しい結果を飾ったデビュー戦を振り返ってくれました。

大会後は家族からも祝福を受けたといい、「10月には新人戦があるので、そこでも優勝を狙いたい」と今後の目標を誓いました。

第 66 回近畿中学校総合体育大会  
陸上競技の部 走幅跳 出場  
ふじわら いちか  
藤原 一華 さん(橋立中学校 2年)



「小学5年生のとき、体育の授業で初めて走り幅跳びをして、そのときに楽しいと思った」と、競技を始めるときかけを語ってくれた藤原さん。小学6年生のときに出場した大会では、わずか1cmの差で全国大会出場を逃してしまい、悔しい思いをしたといいます。

「橋立中学校に入ったら陸上部で走り幅跳びをしよう決めていた」といい、今年7月に行われた京都府中学校総合体育大会では5m13cmで2位入賞の記録を残し、近畿大会への切符を獲得。近畿大会には「ジュニアオリンピック出場の標準記録である5m35cmを目標に臨んだ」といいます。しかし、イメージしていた結果を残せず敗退してしまい、「1本目の記録が悪かった。そこで気持ちが焦ってしまい、集中力が切れてしまった」と大会を振り返ってくれました。

最後には、「来年こそは全国大会に出場できるように、経験を生かして今後も記録を伸ばしていきたい」と力強く語ってくれました。

第 52 回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会  
円盤投げ、砲丸投げ 出場  
まえの こうた  
前野 孝太 君(宮津高校伊根分校 2年)



中学時代は野球部に所属するも、陸上競技の投てきで京都府の強化選手に選ばれていたという前野君。

高校に入学し、本格的に競技を始め1年生から全国大会に出場を果たし、昨年に続き出場した本大会。緊張を抑え、自分を落ち着かせるために先生からのアドバイスを自分に何度も言い聞かせ競技に臨むよう意識しているといい、予選敗退に終わった昨年の悔しさを胸に、本大会には決勝進出を目標に大会に臨んだといいます。結果については、「今の自分の実力に合った結果だったと思う」と冷静に語ってくれました。大会を振り返り、「目標を達成することができたのでよかった。円盤投げは記録を伸ばしていけると思っているので、今後も力を入れて練習していきたい」と、記録向上に意欲をみせました。

最後には、「今年は決勝に残れた。来年は決勝の中でも上位8位に入りたい」と、全国大会でのさらなる活躍に向け練習に取り組んでいくと語ってくれました。

第 16 回全国女子中学生ウエイトリフティング選手権大会  
女子 48 kg級 優勝 ほか  
むとう りえる  
武藤 理恵瑠 さん(橋立中学校 3年)



5月の全日本選手権、7月のアジアユース選手権に唯一中学生として出場した武藤さん。「すごく緊張していたが、順位にはこだわらず記録を出すことを意識した」という全日本選手権では、スナッチ、ジャークとも中学生新記録を更新。しかし、「スナッチ、ジャークとも課題である1本目を落としてしまった」と悔しさをみせました。また、ネパールで行われたアジアユース選手権では、「食事の違いなどが影響し、調整に苦しんだ」といい、初の海外遠征での経験を語ってくれました。8月には全国女子中学生ウエイトリフティング選手権大会に出場し、「思ったよりも記録を伸ばせなかった」と振り返りましたが、大会新記録を更新するなど中学生最後となった本大会でも見事優勝を果たしました。

最後には、「川畑先生(加悦谷高校ウエイトリフティング部顧問)から指導を受けているうちにオリンピックに出場したい」と今後の目標を語ってくれました。

第 52 回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会  
砲丸投げ 出場  
はまだ こうへい  
濱田 滉平 君(宮津高校伊根分校 2年)



中学1年の時の陸上記録会で砲丸投げを経験していたことをきっかけに、今年の春から競技を始めたという濱田君。普段の試合では、「練習の時の良いイメージを思い出しながら臨んでいる。とにかく集中するように心がけている」といいます。

濱田君にとって初めての全国大会となった本大会には、今までの練習の成果を出しきることを意識して臨んだといいます。しかし、イメージどおりの結果を残すことができず、「初めての全国大会ということもあり、慣れないところがあった。雰囲気にも飲まれてしまった」と悔しい結果に終わった大会を振り返りました。

「来年も全国大会に出たいと思っている。他の選手と比べて体格面で劣っているので、投げる時のターンやステップなどの技術面を磨いて記録を伸ばしていきたい」と自分の課題に目を向け、さらなるステップアップを誓いました。



第 65 回全日本高等学校選手権競漕大会

女子舵手付きクォドルプル 出場  
まつい まゆ  
**松井 真優** さん (宮津高校3年)



宮津高校に入学し、はじめはマネージャーとしてボート部に

入部したという松井さん。徐々にボート競技の楽しさに引きこまれ、3ヵ月後には選手として本格的にボート競技の道へ。

本大会が2度目の全国大会出場となり、「2年生のときに出場した全国大会では、雰囲気にも飲まれてしまい悔しい思いをした。その経験を無駄にしないために『自分たちのレースをしよう』と意識して大会に臨んだ」といいます。準決勝まで勝ち上がり、「出せる力は全て出せた。そこに悔いはないが、後輩と先生を決勝に連れていけなかったことが悔しかった」と大会を振り返ってくれました。

卒業後の進路について、「ボートを通してメンタルの重要性を学んだ。将来はスポーツ選手のメンタルトレーナーになりたいと思っている。大学に進学し心理学を学びながらボート競技にも関わり続けたい」と語ってくれました。

第 41 回全国高等学校総合文化祭

書道の部 出展

よしおか りえ  
**吉岡 里恵** さん (加悦谷高校3年)



「加悦谷高校に入ったら書道部に入ると決めていた」という

吉岡さん。「中学生のときに加悦谷高校の先輩の作品を見て、その時、直感で『カッコいい』と思った」といい、先輩への憧れから書道の道を志したといえます。

体調や気持ちで字が変わってしまうという書道。全国大会に出展された作品は半年間かけて完成させたといえます。「これまで支えてくれた先輩や後輩、山形先生に少しでも恩返ししたいと思い、より完成度の高い作品にするために妥協せずぎりぎりまで作品を書き続けた。その結果、納得いく作品ができた」といい、出展が決まったときは「うれしいという気持ちを通り越した思いがあった」とその時の感情を語ってくれました。最後には、友だちや家族にも支えられ続けることができた書道で、全国大会で自分の作品が飾られているのを見たときは「夢が叶ったと思った」と語ってくれました。

全国高等学校女子ウエイトリフティング選手権大会

女子 63 kg級 3位入賞

いとい ゆうな  
**糸井 夕菜** さん (加悦谷高校2年)



中学2年生の冬にウエイトリフティングを始め、川畑先生の

指導のもと競技を続けたいという思いから加悦谷高校に進学した糸井さん。中学3年生から全国大会へ出場し、全国大会常連に名を連ねる実力者です。しかし、6月に出場した近畿大会では、春先に負った怪我の影響により、満足いく結果を残せず悔しい思いをしたといい、苦手なジャークの記録向上に向け、練習を重ねているといえます。

得意とするスナッチで鳥羽高校の西村選手(本大会結果:1位)に勝つこと、また、総合順位で3位入賞を果たすことを目標に挑んだという本大会。見事3位入賞を手にし、「最低限の目標はクリアできた」と、大会を振り返ってくれました。

「下半身が弱いので、そこを課題にトレーニングを積んでいる」と、自分自身の課題と向き合い、「来年こそは全国大会で優勝する」と、現状に満足することなくさらなる成長を目指しています。

全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技

85 kg級 出場

しもむら ゆうき  
**下村 優輝** 君 (加悦谷高校1年)



中学3年生の夏に加悦谷高校のオープンキャンパスに来た際、

「やってみないか」と川畑先生に声をかけられたことがきっかけでウエイトリフティングを始めたという下村君。「声をかけられるまではウエイトリフティングのことをそこまで知らなかったが、それをきっかけに楽しそうだと思うようになり、中学3年の夏から練習に通うようになった」といいます。

「全国大会でもいつもどおりの試合ができた」と初の全国大会でも、雰囲気にも飲み込まれることなく試合に臨めたという下村君。大会では自己ベストを更新することを目標にしていたといえます。しかし、目標には届かず、「自己ベストを超えられなかった。悔いが残る大会となった」と大会を振り返りました。

最後には、「鳥羽高校の選手が自分と同じ階級で2年生ながら表彰台に上がっているのを見て、その人を超えたい、自分も表彰台に立ちたいと思った」と、刺激を受けた大会になったと語ってくれました。

天皇賜杯第 86 回日本学生陸上競技対校選手権大会

女子 100 mハードル 出場

なかむら ゆうき  
**中村 有希** さん (関西大学4年)



6月に行われた全国大会で見事優勝を果たし、広報よさの

2017年8月号では「よさの人」としてこれまでの競技人生を語ってくれた中村さん。

「6月の大会後から、強化合宿などでトレーニングを重ね、怪我もなく順調に調整できていた」とコンディションは万全な状態でむかえた本大会。しかし、「予選のタイムが思っていた以上に悪かった。そこで自分のイメージとズレが生じてしまった」といい、これまでの練習で良いタイムを残してただけに想定外の展開だったといえます。そして、「日本一を維持することがどれほど難しいことなのかを身にしみて感じた。常に挑戦者でいることが大事だが、その心が足りなかったのだと思う」と、8位入賞という悔しい結果に終わった本大会を振り返りました。

最後には、「今回の負けを受けとめ、卒業までの残された試合をしっかりと戦っていききたい」と語ってくれました。

第 19 回全国水産・海洋高等学校カッターレース大会

優勝

こむろ たかとし  
**小室 貴稔** 君 (海洋高校3年)



「自分の実力ではまだまだ無理だと思っていた」と、1年生

の時にチームが全国大会に出場するも、メンバーに選ばれられなかったときのことを振り返ってくれた小室君。3年間、日々練習を積み重ねてきたことで精神力も鍛えられ、今では、普段は温厚な雰囲気でも漂わせながらも、試合になると顔つきが変わるほど勝負に集中するといえます。

準備から当日の大会運営まで主管校である海洋高校が行うこととなった本大会。顧問の中島先生が大会準備に時間を割かれ、直接指導が受けられる時間が取れない中、「ビデオ撮影の映像を用いてフォーム等の指導を受けていた」と語り、チーム一丸となって大会に挑んだといえます。大会では、見事2連覇を果たし、「素直にうれしかった。自分を支えてくれた部員や中島先生をはじめとした顧問の先生方、家族に感謝の気持ちしかない」と、苦労を重ね臨んだ最後の大会を振り返ってくれました。

全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技

+105 kg級 出場

みずぐち こうき  
**水口 皓貴** 君 (加悦谷高校3年)



「川畑先生に声をかけられるまではバスケットボール部に

入ろうと思っていた」と、突然のスカウトによりウエイトリフティングの道に進むことを決意した水口君。

3年生となり念願のインターハイに出場。最初で最後のインターハイを前に、「最後の全国大会だったので、悔いが残らないように臨んだ」といいます。大会では、スナッチ、ジャークともに3回全てを挙げ、着実に記録を伸ばし、「成功率は良かった。どちらも自己ベストをマークし、目標を達成することができた」と、小さくならずおもいきりやることを意識して練習してきたその成果を、インターハイという大舞台で発揮することができたといえます。

「ウエイトリフティング部に入ったことで、最後には全国大会を経験することができた。3年間競技を続けてきて、学べたことも多かったので入部してよかったと思う」と、3年間を捧げたウエイトリフティング部への思いを語ってくれました。

全国高等学校女子ウエイトリフティング選手権大会

女子 75 kg級 出場

くらた みゆう  
**倉田 実柚** さん (加悦谷高校3年)



中学校まではバレーボール部に所属するも、「川畑先生に声を

かけてもらい、ウエイトリフティング部の先輩を見に行った時にかっこいいと感じ興味を湧いた」といい、それをきっかけに競技を始めた倉田さん。

「自分の気持ちを落ち着かせて、成功することだけを考えて試合に臨むように意識している」といい、今までの大会では思うような結果が出ていなかったこともあり、今回こそは上位6位に入ることを目標に高校生活最後の大会に挑んだといえます。しかし、本大会では7位入賞に終わり目標まであと一步届かず、「これまでから課題にしていた自分のメンタルの弱さが出てしまったと思う。悔いが残る試合になった」と大会を振り返ってくれました。

「この3年間で、競技面でも成長できたと思う。また、競技以外の部分でも人間性や協調性を育むことができた」と、ウエイトリフティング部で過ごした3年間を語ってくれました。



わたしたちは仕事や日常生活の中で、パソコンや携帯電話、テレビやDVD、ゲーム機器などについて集中してしまい、目に負担をかけています。目を酷使することで、目の老化は早くに始まってしまふと言われています。また、スマートフォンやパソコンの普及により、目の疲れに悩まされているのは大人だけとは限らない時代になりました。2010年に、ある製薬会社が行った調査では、多くの小学生がゲームやテレビなど何らかのモニターを見ている時間は1日3時間という結果が出たそうです。

今回は、「眼精疲労」「ドライアイ」を中心に、目を大切にするためのポイントをいくつかご紹介します。

### 眼精疲労とは？

目を使う作業を長時間続けることにより、目の充血やかすみ、目がチカチカしたり焦点を合わせにくくなるなどの「ドライアイ」の症状や、頭痛・肩こり・吐き気などの全身症状が出現し、休息をとっても十分に回復しない状態をいいます。

■原因は？  
緑内障や白内障でも眼精疲労は出現しますので注意が必要ですが、多くは、度の合わない眼鏡を使用していたり、老眼の初期などで無理な作

### 眼精疲労を回復させるために

原因を探り、それが発見されたら排除することが必要です。

例えば、眼鏡が合わない場合は作り直したり、目の病気が発見されたら治療しましょう。パソコンを使う機会が多い方は、適度な休息を取り入れながら作業しましょう。眼精疲労に特効薬はありませんが、次のよ

涙はこんなに重要です～涙の働き～

- ①目を保護するための働き  
目の乾燥を防いだり、異物を洗い流してくれます。
- ②目の血液としての働き  
体の中で唯一、血管が通っていない角膜へ、酸素や栄養を運んでくれます。

ドライアイを放置すると、眼精疲労にとどまらず、角膜や結膜が傷つき、視力障害にもなりかねません。ドライアイには注意しましょう！

業を行った場合に起こります。最近ではパソコンやスマートフォンなどが原因の眼精疲労が増えています。

また、眼精疲労をもたらすドライアイの原因として、過労やストレス、空気の乾燥、加齢による涙の減少も挙げられます。

▼ドライアイを予防する

①まばたきをしましょう  
涙はまばたきによって作られ、まぶたがワイパーの役目をして全体に涙を分配します。意識して、ゆっくりとまばたきを何回かしてみましよう。

②夜更かしは避けましょう  
人間の体は、夜は眠るようにつくられているので、涙の量も減ります。夜中に目が開いていると、ドライアイを進めることになります。

③部屋の空気をきれいに保ちましょう  
空気中のチリやほこりが目に入ると、涙の出口を詰まらせて、涙が十分出なくなります。

④パソコンやテレビの画面は、なるべく見下ろす位置がいいでしょう

▼手軽にできる冷・温パック  
ショボショボした疲れ目は血行不良のサインです。熱めのお湯で洗ったタオルで目を覆うようにパックしましょう。目の周りの血管が広がり、血行が良くなります。

充血した疲れ目には冷パックです。充血は目が炎症を起こしている状態なので、冷やすのが効果的です。絞ったタオルを冷蔵庫で冷やしておくとうまくいきます。

▼目のための簡単ストレッチ

目の愛護デーをきっかけに、家族みんなで目の健康について考えてみましょう。

### <眼球のクルクル体操>

- ①一度、目をギュッと閉じてパッと開きます
- ②頭を動かさずにして、黒目を次の要領でゆっくりと動かします  
上へ⇒元にもどす⇒下へ⇒元にもどす⇒右へ⇒元にもどす⇒左へ⇒元にもどす  
これを2～3回繰り返しましょう

### <ピント合わせ体操>

- ①近くのを10～20秒見つめる
- ②次に、なるべく遠くのものに目を移し、5分ほどぼんやり眺める  
これを数回繰り返しましょう

一点を見続ける作業では、近いところにピントを合わせ続けているために、毛様体というピントを調節する部分が疲れています。眼球を動かす体操は、コリをほぐすための効果的な方法です。今回は「眼球のクルクル体操」と「ピント合わせ体操」をご紹介します。



## ～災害に備えて～

大地震や集中豪雨など、近年さまざまな自然災害が報じられています。いつ起こるかわからない災害への対策と日頃の備えがとても大切です。



### 災害に備えて家族で話し合う機会を！

災害が起きた際に一番心配なのは家族の安否。日中、家族がバラバラにいるときに災害が起きたら。そんな場合の連絡方法や集合場所について確認しておくことが大切です。

ぜひこの機会に、改めて話し合ってみてください。

### ■確認その1 「連絡方法」

- (1) 災害用伝言ダイヤル「171番」やSNSを利用する  
ガイダンスに従って音声メッセージを録音しておく、家族などが「171番」をダイヤルして聞くことができます。このサービスは、ほとんどの固定電話や携帯電話から利用できます。
- (2) 知人や親戚を通じて知らせる  
地震被害の考えにくい遠く離れた親戚や知人宅を中継地点に定め、電話で互いの安否確認ができる段取りをしておくことをおすすめします。



最近はTwitterやfacebookなどのSNSも活用されるようになりました。携帯電話もご家族とつながりやすくなる可能性があります。複数の確認手段をご検討ください。

### ■確認その2 「避難場所・避難経路」

いざ災害が起きた時にあわてずに避難するためにも、自治体のホームページなどから防災マップやハザードマップ（災害予測図）を入手し、避難場所、避難経路を事前に確認しておきましょう！

また、電話連絡できないことも想定して、状況に応じて家族それぞれの避難場所、最終的な集合場所を決めておきましょう。



## 秋の全国火災予防運動



11月9日(木)から11月15日(水)まで、全国一斉に秋の火災予防運動を実施します。与謝野町消防団では、消防団員による家庭訪問、消防車両による防火広報、夜間警戒を実施する他、防災行政無線や音声告知放送による広報なども行います。

火災は、少しの注意で防ぐことができる場合が多いです。活動を通じて町民一人ひとりの防火意識を高め、「火災ゼロの町」を目指しましょう。

また、一人ひとりが責任を持ち、火の取り扱いには十分注意し、火の用心を心がけましょう。



はじめまして！僕の名前はセバスチャンです。江陽中学校の新しいALTとしてこの夏にイギリスからやってきました。毎日自転車で通勤しているので、もう既に僕を見たことがある方がいるかも知れませぬ。

僕は今年で23歳になります。故郷はイギリス南西部にあるブリストルという町です。与謝野町と同じくブリストルは農業が盛んであり、美しい風景、そして友好的な人柄で知られています。日本に来る前、僕はフランスで英語を教えるしていました。また、大学ではフランス語、アラビア語とアラビア文学を専攻したので異なる言語や文化を学ぶことに興味があります。新人なので分からないことはありますが、がんばりますのでよろしくお祈りします。

今日は10月です。イギリスの古い言い伝えでは、秋は超自然的な世界が現れる季節だといわれています。日本でもおなじみの「ハロウィン」は古代ヨーロッパで、秋にさまよう霊から身を守るために火を燃やしたことが起源であるといわれています。

多くのイギリス人は10月を嫌います。なぜなら、イギリスの冬は昼が短く夜が長い憂うつな季節であり、10月は冬へと続く秋の始まりであるからです。故郷イギリスでは短い夏が終わり、世界はゆっくりと眠ろうとしています。自然は全てに終わりがあることを僕たちに思い出させてくれます。永遠に続く

ものはありません。イギリスの芸術と詩の多くは季節の変化とそれがもたらす悲しさを表現しています。

イギリス人にとって秋は終わりの季節ですが、今僕が日本で体験している秋の始まりは少し異なる印象を受けました。空気はすがすがしく、日差しは優しく感じられます。そして何より、夏から秋にかけてゆっくりと豊かな色になっていく山々の木々に驚きました。



セバスチャンといっます！  
よろしくお祈りします！

フランスの作家、アルベール・カミュは著書に「Autumn is a second spring when every leaf is a flower (秋は第二の春、全ての葉が花)」と書きました。僕は与謝野の山々の木々を見て、まさにそのとおりだと思いました。この時期の日本の自然はとても色鮮やかで美しいと思います。

秋の美しさには学ぶべき教訓があると思います。それは、僕たちが望む、望まないにかかわらず、美しいものは常に僕たちの周りにあるということです。秋はただ単に夏の終わりかも知れませんが、僕にとっては新しいことの始まりに感じます。

毎日、仕事から家に戻る途中、僕はこの町の自然の美しさを感じます。僕は自然豊かなこの町に来られたことが非常に幸運で幸せだと思えます。この町に僕を迎えていただきありがとうございます。皆さんも僕と同じように与謝野の美しい秋の日々を楽しむことを願っています。

## 時の贈り物 [第93回 「飾り瓦」古民家にみる意匠と機能]

水玉、鯉、うさぎ、波頭、鯨、

水に関係が深いものが一般的で、家を火災から守って欲しいという願いが込められました。このように、それぞれの飾りには、その家の願いが込められたのです。

ちりめん街道では、比較的見やすい位置に、桃、恵比寿さん、水玉、鯉、うさぎ、波頭、鯨、



ちりめん街道で見られる飾り瓦の一例(左:大黒さん、右:うさぎ)

飾り瓦とは、屋根の棟の端に付けられる立体的な瓦のことです。瓦のつなぎ目を覆い、雨漏りを防ぐ働きをします。

とても身近で、普段は気にも留まりません。また、当地域の屋根瓦は、墨系の単色が多く、目を凝らして見て装飾に気づくほどです。

お寺の大きな鬼瓦は見られた方も多々あります。こちらも飾り瓦のひとつです。民家で鬼はまれで、隣家が近い京町家では、魔除けにはなるが、お隣さんに近づけるのは……と鐘屋さんに替わったという説もあるようです。

大黒さん、鷹、靈獣の玄武が見られます。

うさぎは旧尾藤家住宅にあり、す。「なぜ可愛らいうさぎを?」と思ったのですが、「月(つき)」を呼ぶ、前にしか進まない、と縁起が良い動物だそうです。

あなたのお住まいの近くにも、珍しい飾り瓦があるかもしれません。

洪くつかつこいい雰囲気の古民家に「かわいい」の要素を見つけると、楽しみも時はいかがでしょうか。

(与謝野町教育委員会)

## 文字・活字の日

10月27日は「文字・活字文化の日」。日本語は、ひらがな・カタカナ・漢字とさまざまな文字に溢れています。今回は、文字や書道にかかわる本をテーマに集めてみました。

### 『字を書く女 中年書道再入門』

酒井順子/芸術新聞社



「負け犬の遠吠え」など独自の視点から歯切れの良い語り口のエッセイが好評の著者。彼女が2年にわたって書道のお稽古を体験し、筆をもつ楽しさや写経の魅力のほか、王羲之や空海の書についても、新たな切り口で綴ったエッセイです。

### 『美文字の法則さっと書く一枚の手紙』

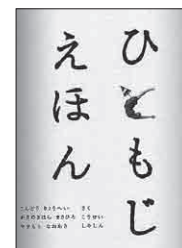
根本知/さくら舎



昔より文字を書く機会が少なくなったと言われていますが、だからこそ手書きの手紙は心に残ります。「お礼状」や「詫状」を、さまざまな筆記用具で書いた例文を収録するほか、美文字を書くための法則を、わかりやすく伝授しています。

### 『ひともしえほん』

こんどうりょうへい/福音館書店



「あ」を人間の体で書いてはどうなる？ 一人で書ける文字は何？ からだでひらがなの50音を作った写真に、リズムカルな文章をそえた写真絵本。からだで文字を作りながら、文字の形の不思議さ、体の動きの面白さを味わえます。

### 『とめはねっ！ 鈴里高校書道部 全14巻』

河合克敏・武田双雲/小学館



廃部寸前の書道部に強引に入部させられた帰国子女で書道初心者の主人公と、柔道は全国2位の実力だが、書道は大の苦手な女の子が、「書の甲子園」にチャレンジする青春ストーリー。漫画ですが読めば書道への興味が湧くこと間違いなし。

### ◆◆雑誌リサイクルのお知らせ◆◆

10月27日～11月9日は読書週間です。この季節に毎年恒例の雑誌リサイクルを行います。図書館で保存期限が切れた雑誌を希望者へお譲りします。

お近くの館(室)で本を借りる際に、ぜひご利用ください。

【本館】：10月27日(金)～11月2日(木)  
【加悦分室】：11月4日(土)～11月9日(木)  
【野田川分室】：11月11日(土)～11月16日(木)  
それぞれ開館時間中(午前10時～午後6時)

(内容)

▼平成25年9月から平成26年8月末までに図書館で購入した雑誌59種類780冊(予定)  
▼期間中お1人様3冊まで。電話等での予約・取り置き・交換は受け付けられません。  
▼お渡しする際には図書館カードを呈示いただけます。  
▼数に限りがありますので、先着順でなくなり次第終了します。  
※雑誌タイトル等詳細は館内掲示ポスターおよび図書館ホームページでご確認ください。

今月の  
新着図書

一般書 ●『町を歩いて本のなかへ』南陀楼綾繁/原書房 ●『子や孫にしばられない生き方』河村都/産業編集センター ●『非暴力を学ぼう』中川喜代子/解放出版社 ●『部活があぶない』島沢優子/講談社 ●『イギリスの小学校教科書で楽しく英語を学ぶ』古川昭夫/小学館 ●『ヒストリア』池上永一/KADOKAWA 児童書 ●『ころりんタイヤくん』新井洋行/フレーベル館 ●『そのら100かいだてのいえ』いらいとしお/偕成社 ●『いのちのたべもの』中川ひろたか/おむすび舎 ●『おしりたんでい いせきからのSOS』トロール/ポプラ社 ●『いきのびる魔法』西原理恵子/小学館 ●『リンちゃんとネネコさん』森山京/講談社

### Info 図書館おはなし会

[加悦]10月14日(土)午前10時30分～  
[本館]11月4日(土)午後3時～  
[野田川]10月はお休みです

### 江山文庫読書会 与謝野晶子の童話を読む 第66回 「正平さんと飛行機」

■日時 10月27日(金) ※毎月第4金曜日  
午後1時30分～3時  
■お問い合わせ先 江山文庫 ☎ 43-2180

●問い合わせ先/与謝野町立図書館 ☎ 46-2451 加悦分室 ☎ 43-0376 野田川分室 ☎ 43-0087  
●開館時間/午前10時～午後6時 ●休館日/毎週月曜(本館・加悦分室)、毎週火曜(野田川分室)、毎月最終木曜(共通)





## まちの話題をお届けします



美しく仕上がったマイ浴衣で記念写真

### ●染色講習会 マイ浴衣制作披露

#### 色鮮やかな浴衣に身も心もうっとり

8月20日、「染色講習会（マイ浴衣制作）」に参加している講習生7人が、心をこめて染め上げたオリジナルの浴衣を披露しました。

受講生の皆さんは完成した浴衣を素敵に着こなし、食事会を楽しみながら浴衣での1日を満喫しました。想いのこもった色とりどりの浴衣姿に、会場は華やかな雰囲気になりました。



地域の方が見守るなかそれぞれが活動報告を行いました

### ●京都Xキャンプ 夏の活動発表会

#### 大学生が与謝野の活性化に挑む！

9月2日、Xキャンプ古民家（字滝：Xキャンプ拠点）において京都Xキャンプ夏の活動発表会が行われました。町内の方と協働し地域を活性化させるため毎年活動を行っている京都Xキャンプ。発表会では、所属する関西圏の大学生が昨年から1年かけて取り組んできた、与謝野で採れたトマトの加工食品開発を目指すプロジェクトや小学生の宿題のお手伝いを行う「おいでよ！古民家」事業など6つのプロジェクトの活動報告と今後の目標を発表しました。発表会の最後には、Xキャンプ古民家の愛称を決める総選挙が行われ、来場者、学生による投票の結果、滝の千年ツバキの「椿」を「木」と「春」になぞらえ、Xキャンプ古民家に多くの人々が「きはる（訪れる）」という思いが込められた「木春舎（きはるしゃ）」が選ばれ、夏の活動発表会を締めくくりました。

### ●田んぼの教室 稲刈り体験

#### コンバインを操作し稲を収穫！

9月23日、岩屋地域のほ場において稲刈り体験が行われました。これは、子どもたちを対象に実際に田植体験・稲刈り体験をしてもらい自然豊かな与謝野町を実感してもらうことを目的に、町内の4つの農家で結成された「田んぼの教室実行委員会」により主催されているものです。

当日は4組の家族連れの参加があり、農家の方の補助のもとコンバインを操作し、最初は機械の激しい振動に緊張しながらも、稲穂の匂いを感じながら田んぼ一面の稲を刈り取っていき、最後には満面の笑顔を見せていました。体験後は農家さんによりおにぎりが振舞われ、稲刈り体験の楽しさに浸りながら、田んぼの畔で青空のもとランチを満喫していました。



初めての稲刈り体験を楽しみました

### ●与謝野町消防防災フェア2017

#### 消防・防災について学びました

9月10日、岩滝体育館・グラウンドにおいて与謝野町消防防災フェア2017が開催されました。

消防団と宮津与謝消防組合によるレスキュー活動実演や起震車に乗車して行う地震体験、消防団員の補助のもと火点的に向け放水を行う放水体験などが行われ、子どもから大人まで消防防災について関心を深める1日となりました。



防火服に身をまとい火点を目向け放水しました



慣れない手つきながらも一生懸命作業しました

### ●桑飼小学校 稲刈り体験

#### 大きく育った豆っこ米を収穫しました

9月13日、温江区のほ場において桑飼小学校2年生・5年生計20人が稲刈り体験を行いました。

あつえ夢ファームの協力により、5月に田植えを行った2年生と5年生が使い慣れない鎌を手し、協力しながら稲を刈り、わらで束ねたあと稲木干しまでを行いました。「稲を刈る時の持ち方や稲の結び方も教えてもらって自分のできるようになってよかった」と児童からは感想が聞かれ、貴重な経験となりました。



天候にも恵まれ作業がはかどりました

### ●阿蘇海カキ殻回収

#### 約1.7tのカキ殻を回収

NPO法人国際ボランティア学生協会（IVUSA）の主催により、8月27日に阿蘇海沿岸で「カキ殻回収」が実施されました。当日は、炎天下の中でしたが、学生約20人、NPO法人丹後の自然を守る会など総勢約40人の方々の参加により、約1.7tのカキ殻を回収することができました。また、このうち、約540kgのカキ殻を、与謝野シルクプロジェクト推進協議会が事業を進める桑園ほ場（石川区浪江谷）へ肥料として散布し、海で採ったものをまた山に肥料として還元する「自然循環」の取り組みとなりました。「カキ殻回収」は、平成27年から行われ、今回で5回目の実施となりました。

### ●岩滝小学校 大江山を学ぶ雲龍和紙ランプづくり体験

#### オリジナルランプが完成しました！

9月7日、岩滝小学校において廣瀬 勲さん（広瀬創作工芸）を講師に迎え、大江山特産品で創る「雲龍和紙ランプづくり体験」が行われました。

小学5年生47人が、廣瀬さんのていねいな指導のもと、雲龍和紙を伸ばしながら糸巻きに貼りつけていき、それが終わると、もみじや動物の形にかたどられた色紙を使ってランプを思い思いにデザインしていきました。繊細な作業に苦戦しながらも、それぞれが世界に一つだけの雲龍和紙糸巻きランプを完成させました。



ランプ作りに夢中になりました

### ●三河内小学校 アナウンサーから学ぼう

#### 伝え方を意識しよう！

9月7日、三河内小学校において全児童93人を対象に外部講師による授業「アナウンサーから学ぼう」が行われました。

昨年から行われているこの事業。講師としてKBS京都から梶原 誠さんをお招きし、「伝える・伝わる」をテーマに、相手に正確に伝えたいことを伝えるための方法や、共感を得るために意識することなどを学びました。参加した児童からは、「伝え方を工夫しただけで伝わり方が違うことが知れた」「難しい内容を楽しく教えてもらうことができた」などの感想が聞かれました。



「ハッ、ハッ」と腹式呼吸の練習に取り組む児童



## 百商一気「桜プロジェクト」決起集会を開催しました

商工振興課 ☎ 43-9012

### ◆◆募集案内◆◆

#### 桜プロジェクト

苗木オーナー・新商品アイデア募集中！  
賛同される方は、商工会「百商一気」事務局まで！  
☎ 43-1020



関係者により記念植樹が行われました

**桜プロジェクト始動！！**

9月2日(土) 野田川ユースセンターにおいて、約70人の参加者のもと、くすぐるカード会百商一気「桜プロジェクト」決起集会が盛大に開催されました。

本プロジェクトは、町内100以上の商店と関係者が一気一丸となり、これからの与謝野町の商業活性化を展開するために導きだしたコンセプト「百商一気」の展開として、町内各地に桜を植え、日本の桜の町「与謝野町」を目指し、全国から人を集め、地域・商工業を発展・活性化させる取り組みです。

この日は、くすぐるカード会の小長谷会長のおいさつ・趣旨説明にはじまり、森林公園「想い出の丘」での桜の記念植樹、プロジェクトの説明や今後の事業展開について意見を交わしました。

今後は、桜の植樹をはじめ、新商品開発・販売へ向け、取り組みが動きだします。

## 身近なところから地球温暖化対策に貢献！

よさの緑のカーテンコンテスト2017

住民環境課 ☎ 43-9030



コンテスト最優秀作品 (左：個人の部、右：事業所等の部)

地球温暖化の一因となっている温室効果ガスの削減および電力不足に対する省エネ行動は、町民の皆さん一人ひとりの協力が重要です。窓を覆う「緑のカーテン」は、夏の日差しを和らげ、家の中の温度を約3℃下げ、効果が大きいと言われています。

町とよさの百年の暮らし委員会(愛称「みらいふ」)では、地球温暖化対策の一環として、町民の皆さんが取り組みやすく、二酸化炭素削減効果の高い「緑のカーテン」の普及促進を図るため、「よさの緑のカーテンコンテスト2017」を開催しました。コンテストには合計15点の応募があり、最優秀作品など次の4点を選考しました。

**【選考結果】**

**〈個人の部〉**

- ▼最優秀賞 平勝成 (幾地)
- ▼優秀賞 おはなの会代表(温江)

**〈事業所等の部〉**

- ▼最優秀賞 与謝小学校(与謝)
- ▼優秀賞 ラ・クーブ(加悦)

## 田畑も生き物も元気な農業を学びました

うちのまち講座(農業編)

農林課 ☎ 43-9023



貴重な講演に耳を傾けました

今年2月からこれまで5号にわたり町が発行してきた、かべ新聞「うちのまち」かべ新聞との連動企画「うちのまち講座」として、今回、8月28日に野田川わくわくばるにおいて、「環境創造型農業」を推進する兵庫県農業改良課の西村いつき参事を講師にむかえ、西村さん自身が実践してきた「コウノトリを育む農法」の取り組みや成果について講演が行われました。

安心安全でおいしい米を育む農法を聞こうと、農業者や農業関係者など66人が集まり、西村さんからは、「何も無いと思いついでいる地域にも必ず地域を救う地域資源がある」と自身の経験をもとに語られ、参加者は学びを深める機会となりました。

## まちの話題ワイド

よさのみらい大学  
http://yosano-univ.jp

### ●さまざまな講師との自発的な交流 与謝野を活かす、輝かす

7月1日に開校した、よさのみらい大学。与謝野町全体を大学のキャンパスに見立て、これまで7回の講座を実施し、多くの方が受講されました。9月は毎週講座を開講し、「リベラルアーツコース」、「地域づくり学部」、「与謝野ブランド戦略ビジネス学部」の全学部・コースによる講座を実施しました。

9月9日の「リベラルアーツ-建築と地域デザイン」では、90人を超える多くの方が建築家 前田圭介氏の実践的な講義に耳を傾けると共に、質疑応答や名刺交換等、講義外の活動も活発に行われました。

9月16日には、「地域づくり学部-FOOD HUB PROJECT『地産地食』食の循環が日常の質も上げる取り組みを

学ぶ」と題し、徳島県神山町に移住し地域の農業を次世代に繋ぐ活動をしている monosus inc. プロデュース部長兼 Food Hub Project Inc. 支配人のまなべたいち真鍋太一氏を講師に迎え、神山町での取り組み紹介から FOOD HUB のこと等を学び、講義の合間に受講者による検討時間を挟み、与謝野町や近隣地域での「地産地食」について考え、受講者同士の交流を深めました。

9月1日、22日、30日のビジネス学部講座では、空いている時間や空間を有効活用した「商い」について「民泊」「イベント」「働き方」のテーマで各講師より可能性を広げるための実践的な講義が行われました。

よさのみらい大学は、受講者が「自分でもやってみよう」と可能性を感じ、仕事やプライベートを充実させる“きっかけ”を、学びを通して掴んでいただく“場”として3月まで講座を開講していきます。



講座および講座後の様子

【お詫び】広報よさの9月号(No.139)にて、よさのみらい大学講座案内に誤植がありました。謹んでお詫びいたします。

## まちの話題ワイド

宮津・与謝地方少年少女野球大会

### 総勢10チームが熱戦を繰りひろげました！



優勝を果たし糸井嘉男杯を手にした市場少年野球クラブ

8月5、6日の2日間、宮津市民球場で「第38回宮津ライオンズクラブ旗・糸井嘉男杯争奪 宮津・与謝地方少年少女野球大会」が開催されました。

この大会は、宮津ライオンズクラブが、青少年育成社会奉仕活動の一環として、毎年開催されているもので、今大会から優勝チームには、与謝野町出身で阪神タイガースで活躍している糸井嘉男選手の名を冠した「糸井嘉男杯」が贈られることになりました。

10チームが参加し、大熱戦の末、市場少年野球クラブが優勝し、記念すべき糸井嘉男杯と金メダルを手に入れました。準優勝は、宮津ホークスでした。

市場少年野球クラブの小池大介監督は、熱戦を制した教え子たちに目を細め、「子どもたちには、いつも教えられ、感動をもらっています」と子どもたち以上に感極まっていた。

### 「東京丹後人会」総会開催にご協力ください

東京丹後人会は、1889年に首都圏に在住する丹後出身者のために設立された歴史ある親睦団体です。毎年、総会において旧知の方々との出会いや懐かしい丹後特産品などを提供しています。今年は、飯田橋のホテルで総会懇親会を開催しますので、首都圏在住の親戚や知人の方にお知らせください。

詳しくは、ホームページをご覧ください。  
 ■日時 11月18日(土) 受付11時～  
 午前11時30分～午後2時30分  
 ■会場 ホテルメトロポリタン エドモント  
 ■問い合わせ先 東京丹後人会事務局 ☎ 03-5391-2285  
 http://tokyo-tango.jimdo.com/



## 認知症カフェをご存知ですか？

～認知症の方を地域で見守るために～

☎ 与謝野町地域包括支援センター（福祉課内） ☎ 43-9021

### 安心して暮らすために

わが町にも急速に高齢化がすすみ、8年後の2025年の推計では、65歳以上の人口は約7300人です。その中で丹後圏域認知症高齢者推計によると、町内の認知症の高齢者数が約1090人と推計されています。認知症は誰にとっても身近なものになっていきます。住み慣れたこの町で、安心して暮らすために、認知症の方とご家族の思いに寄り添いながら認知症施策の取り組みを進めています。

今回は、認知症施策のひとつである、認知症カフェについてご紹介し、具体的に取組んでいただいている事業所を今後広報よさで紹介していきたいと思っております。

### 認知症カフェって何？

物忘れなどで不安のある方、また、ご家族様が気軽に訪れ、認知症の予防や閉じこもり予防、介護相談などを目的に、ほっこりとお茶をいただいたり、手作業や手作りお菓子などを一緒につくりながら、地域の方と交流をする場所です。

### どこにカフェがあるの？

町内には、現在8カ所でカフェを実施していただいています。

- 町内の認知症カフェ
  - あわしま、いしかわサロン（石川）
  - みんなのうちサロン、男サロン（加悦奥）
  - 喫茶 茶ぼーと（山岩屋）
  - 認知症何でも相談カフェうえもり（全域）
  - ふれ愛サロン（三河内）
  - なごみカフェ（四辻）
  - いわたきサロン（山岩滝）
  - シルクカフェ（明石・温江・香河）

認知症は、ご本人にとっても不安でつらく、ご家族様はその対応に悩まれ、不安と戸惑いがでできます。一人や家族で抱え込まず、少しでも心配があるなら、気軽に相談いただき、カフェの活用もお勧めします。



## 民間活力により「みえるまち」の実現を！

与謝野ブランド戦略推進組織検討委員会

☎ 商工振興課 ☎ 43-9012



検討委員会委員の皆さんから町長に報告書が手渡されました

**新たな体制を構築**

与謝野町では、まちに秘める潜在的資源（人・自然・産業・文化）の価値（安心・安全・個性・もてなし）を「みえる化」させながら、町民の皆さんによるしごと創出、雇用創出を図る仕組みづくりと、持続可能な循環型社会の構築を図るため、「みえるまち」をコンセプトに掲げ、産業政策として「与謝野ブランド戦略」を推進しています。

平成29年度においては、民間活力による「みえるまち」の実現に向け、推進体制の構築が必要であることから、平成29年6月に「与謝野ブランド戦略推進組織検討委員会」を設置。与謝野町商工会、与謝野町観光協会、ブランド戦略パートナーシップ協定を締結する京都銀行、京都北都信用金庫で構成された検討委員会により、推進組織のあり方について、平成29年9月まで熱心な協議を重ねてこられました。

このほど検討結果がまとまり、9月5日、検討委員会から山添町長に報告書が手渡されました。「報告書

は、町民や事業者などの思いをまとめたもの」と検討委員から述べられると、山添町長からは「ご意見一つ一つを尊重し、ブランド戦略事業の発展につなげていきたい。ブランド戦略事業は、民間活力の源になる事業として展開していく」と力強い決意が語られました。

**審査会と協議会で推進**

報告書にもとづき、ブランド戦略事業の推進にあたっては、今後事業展開を予定している「都市農村交流事業」「産地プロモーション事業」

「若手織物事業者育成事業」について、募集要項の審議から事業者選定までを行うために民間を主体とした審査会を設置し、事業性を公平に審査し、地域振興に資する事業者に対し支援や事業委託を行います。

さらに、実施主体が出そろったのには、ブランド戦略事業を担う実施主体が参画し各事業の情報共有を行う連絡協議会を、商工会が中心となって設立され、民間活力による「みえるまち」の実現を目指していきます。



キッチンスタジオはグループでの利用も可能です。お問い合わせの上、ご利用ください。

## 10月末まで 無料お試し期間！！

施設の使い方は千差万別。無料期間中に、ぜひ一度お試しください。

- 施設概要 / ホール、キッチンスタジオ、調理室、コワーキングルーム、和室（高速インターネット完備）
- 住所 / 与謝野町字岩滝 1767-1
- 休館日 / 毎週火曜（祝日の場合は翌日）、12月29日～1月3日

【問い合わせ先】  
与謝野町産業創出交流センター  
TEL：46-3226

## 8月入札結果

☎ 総務課 ☎ 43-9010

入札日	工事名	場所	業者数	落札業者名	予定価格 (千円/税抜)	最低制限 価格 (千円/税抜)	落札金額 (千円/税抜)	落札率 (%)	工事期間
8/10	四辻旧府道線道路改良工事	四辻	4者	金下建設株式会社	5,392	4,729	4,729	87.7	H29/8/23 ～H29/12/28
8/24	与謝野町LORAWANプラットフォームシステム開発業務委託	与謝野町全域	1者	㈱TrexEdge	23,148	-	23,148	100	H29/9/4 ～H30/1/31

## 平成29年度梅谷遺跡発掘調査説明会が開催されました

今年度実施した三河内地区の梅谷遺跡発掘調査現地説明会が8月18日に行われました。

梅谷遺跡は、加悦谷平野部を見下ろす三河内地区の高台を中心に、南北600m、東西300mの範囲に広がる集落跡です。

昭和47年の調査でおよそ2千年前の弥生時代の生活道具が発見され、さらに、今回の調査で古墳時代から平安時代までの生活の痕跡や道具などが発見されました。

これによって、この地域の暮らしの歴史の一端を見ることができました。



発掘現場において調査説明会が行われました

☎ 社会教育課 ☎ 43-9026

## 第2回ちよこボラDAYを開催します！

よさの百年の暮らし委員会（愛称：みらいふ）と与謝野町では、環境改善の一助として「ちよこボラDAY」と題して自転車道路周辺の清掃活動を実施しますので、みなさまお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。（事前申し込み不要）

- 日時 10月21日（土）午前10時～正午 ※9時50分集合
- 場所 自転車道路（与謝野駅～石田橋）※集合は与謝野駅
- 内容 自転車道路周辺のゴミ拾い等の清掃活動
- 服装 清掃活動のできる格好、軍手・火ばさみなどの清掃道具
- 備考 現地集合・現地解散、飲み物は各自ご持参ください。

## 加悦中学校竣工式のお知らせ

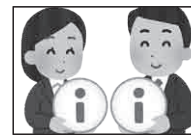
加悦中学校改築工事、外構工事が完成しましたので、下記により竣工式を開催します。

- 日時 10月24日（火）午前10時～
- 会場 加悦中学校 体育館

竣工式に参加ご希望の場合は、準備の都合上、10月20日（金）までに学校教育課（☎43-9025）まで電話でお申し込みをお願いします。

※校舎内覧会については、別途11月に開催を予定しています。





雨水タンク（雨水貯留槽）の購入補助をはじめました

問 上下水道課 ☎ 43-9031

防災・減災のために

近年、頻発する短時間豪雨に対して、雨水を「貯める」取り組みを進め、防災や雨水の利活用に対してより関心を持っていただくため、平成29年度から雨水タンクの購入費について、補助制度を創設しました。

雨水タンクは屋根に降った雨を貯めることで、水路等の急激な増水を抑えることにより、防災・減災が期待できます。また、貯めた雨水を庭木や水やり等に利用することで、限りある水資源を有効に活用できます。

【対象者】

与謝野町内に所有し、または占有する建築物の敷地内に設置する雨水タンク（100リットル以上）を町内の業者から購入した者。

【補助金の額】

雨水タンクの購入に要した費用（1基当たり）の4分の3以内とし、4万5000円を限度とする。



【補助金を交付できない場合】

▼建築物または建築物の存する土地を借り上げている者で、雨水タンクの設置について当該建築物または土地の所有者の同意を得ていないとき。

▼販売の目的で雨水タンク付き建築物を建築し、または増改築するとき。

▼町税を滞納しているとき。

※制度内容等の詳細については、上下水道課までお問い合わせください。また、雨水タンクを購入前にご相談ください。（予算の関係から補助金を交付できない場合もあります）



地域おこし協力隊通信 ②6

与謝野ホップ生産協力担当 好地史隊員 問 観光交流課 ☎ 43-9016

8月から与謝野町地域おこし協力隊に着任いたしました好地史と申します。日頃自己紹介をすると「高知？」と間違えられますが、高知県出身ではなく奈良県奈良市出身です。こちらへ来て、奈良と与謝野町どっちが田舎なのかと聞かれますが、少しだけ与謝野町だと答えています。

趣味は釣りとサツカーです。サツカーは奈良のチームに入って楽しんでいましたが、与謝野町ではまだ楽しんでいないので、もしエンジョイスポーツサークルがあれば紹介してください。釣りに関しては、磯釣りが好きでメジナやチヌを狙いに行きますが、最近はいか釣りを始めたり、いろいろな釣りを楽しんでいます。

与謝野町の印象はとていまして、陽を浴びた稲穂が緑や黄色と彩られた田園風景が印象的

的です。また綺麗な川もあり、生き物がたくさんいるので、生き物が大好きな私には好奇心をくすぐられます。それから、『カタカタ』と音をたてて聞える織りの音色が心を和らげてくれるなと感じました。ただ、同じ関西なのにこんなに違う言葉のなまりにビックリしました。

さておき、私が与謝野町地域おこし協力隊に着任し、これからどんな活動に取り組んでいくかといえますと、ひとつ目は、ホップ（ビールに使われる原料で、ビールの苦味、香り、風味づけや防腐効果など）栽培に携わることです。8月6日には着任してさうそ

うホップ収穫体験のスタッフとして関わることができ、町民や地方の方を含め100人近い方々に収穫を体験していただき

個人番号カード（マイナンバーカード）を申請された方へご案内

問 住民環境課 ☎ 43-9030

個人番号カード

個人番号カード（マイナンバーカード）を申請後、カードが作成された方に対して、個人番号カード交付・電子証明書発行手続きのご案内文書をお送りしています。

交付場所

■与謝野町役場各庁舎 ※お住まいの地域により異なります。交付通知書表面の目隠しシールをはがしてご確認ください。

まだカードをお受け取りになられていない方は、下記の必要なものをお持ちになり、交付場所にてお手続きの上、カードをお受け取りいただけます。なお、交付通知書（はがき）を紛失された場合や、ご案内文書に記載の期限日をすでに過ぎている場合は住民環境課までご相談ください。

必要なもの

- ▼交付通知書（はがき）
- ▼個人番号通知カード
- ▼認めのご印鑑
- ▼本人確認書類（次のうちいずれか1点：運転免許証、運転経歴証明書、身体障害者手帳、旅券。もしくは次のうちいずれか2点：健康保険証、医療受給者証、年金手帳、学生証、医療機関の診察券、預金通帳）



マイナンバー

■その他：交付手続きには約30分程度かかりますので、お時間に余裕をもってお越しください。また、事前にご連絡をいただけましたら、ご希望の日時および交付場所等を調整させていただきます。

たホップを使用した与謝野オリジナルビール醸造に関わることで、8月12日には与謝野町産ホップを使用した、限定3000缶の「与謝野絶景ビール」を町民の方々に飲んでいただくことができました。ふたつ目は、各地でビール醸造されている企業との繋がりを創ることです。与謝野町産ホップがたくさん収穫できても、そのホップを使ってもらう場所（ビールのホップは雌株の鞠花と呼ばれる部分を使用するので、お嫁に出す場所）が無ければ悲しいので、クラフトビール業界の人たちが集まるイベントに参加したり、実際にビール醸造されている企業を訪問したり、SNS（ソーシャル・ネットワーク）や地方の方を含め100人近い方々に収穫を体験していただき

と申します。また、私自身、おこし協力隊の活動をあげて、町民や地方の方を含め100人近い方々に収穫を体験していただき、また、与謝野町で収穫されたホップや収穫体験の様子などを配信し、たくさんの方に



よろしくお願いします

町内に配布している  
広報誌には掲載しています



町内に配布している  
広報誌には掲載しています



まちのうごき

平成29年8月末現在

人口	22,343人 (-9)
男	10,664人 (-3)
女	11,679人 (-6)
世帯数	9,137戸 (+11)

※括弧内は前月比

10月11日（水）発売!!  
1枚300円  
この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。  
（公財）京都市市町村振興協会

与謝野町役場 ☎ 43-9000 (代表)
総務課 ☎ 43-9010
防災安全課 ☎ 43-9011
商工振興課 ☎ 43-9012
会計室 ☎ 43-9013
建設課 ☎ 43-9014
企画財政課 ☎ 43-9015
観光交流課 ☎ 43-9016
加悦庁舎 ☎ 43-9001 (代表)
税務課 ☎ 43-9020
福祉課 ☎ 43-9021
保健課 ☎ 43-9022
農林課 ☎ 43-9023
子育て応援課 ☎ 43-9024
教育委員会 学校教育課 ☎ 43-9025
教育委員会 社会教育課 ☎ 43-9026
議会事務局 ☎ 43-9027
CATVセンター ☎ 43-9028
野田川庁舎 ☎ 43-9002 (代表)
住民環境課 ☎ 43-9030
上下水道課 ☎ 43-9031

※この欄で紹介する出生とお悔やみは、8月16日から9月15日までの届け出分です。また、役場窓口で届出の際に希望された方のみを掲載しています。



衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査の選挙公報について

公職の候補者の氏名、経歴、政見等を掲載した選挙公報は、選挙管理委員会に届き次第、朝刊にて新聞折込みする予定です。新聞を講読されていない方等は、お早めに選挙管理委員会までご連絡ください。なお、与謝野町役場各庁舎、知遊館、三河内、岩屋、上山田、下山田地区公民館、石川農業構造改善センター、加悦地域公民館、算所会館でもお受け取りいただけます。

☎ 与謝野町選挙管理委員会（総務課内） ☎43・9010

与謝野町織物業生産設備広幅化支援事業補助金の募集について

与謝野町では、伝統産業である織物業およびその関連産業の振興と発展を図るため、織物業の商品開発、生産体制の強化等に要する生産設備のうち、織機の広幅化に取り組む事業を募集します。詳しくは、町HPおよび募集要項をご覧ください。

申請募集期間 10月10日（火）～11月7日（火）午後5時

対象事業者 町内に住所を有する個人および事業所を有する法人事業者で織物業、燃糸業、整経業、紋工業および精練整理加工を行う事業所  
対象事業 織物業の商品開発、生産体制の強化等に要する生産設備のうち、織機

す（※事前予約必要） ▼保育ルームあり（※要予約） ▼参加者には、子育てグッズまたは健康グッズをプレゼント  
☎ 10月31日（火）までに、保健課 ☎43・9022へお申し込みください。

YOSANONLINE cafeを開催します

自分の身体のこと、お腹の子どものこと、これからの生活のことなど、ゆっくりお話しませんか。来る時間、帰る時間は自由です。お気軽にお越しください。  
対象 妊婦、ご家族の方  
場所 野田川子育て支援センター（旧岩屋保育所）

日程 月2回開催しています。10月～12月の開催日は次のとおりです。

時間 午前9時半～11時半  
☎ 子育て応援課 ☎43・9024

託児スタッフ養成講座を開催します

参加資格 子育て支援事業に関心のある、丹後地域在住の20歳以上の女性。

募集定員 20人 ※参加費無料  
日程 全4回（11月1日・13日、12月4日・5日） いずれも午後1時～3時

場所 岩滝子育て支援センター（はあとふるなつ）

☎ 10月25日（水）までに、特定非営利活動法人まるっと丹育 ☎080・2482・8642、メール tannikunet@gmail.com）までお申し

の広幅化を行う事業

対象経費 機械装置購入費、備品購入費、外注加工費、運搬費、その他町長が必要と認める経費等

補助率 対象経費の2分の1以内（上限250万円）

その他 対象経費の合計が30万円に満たない場合は、補助対象となりません。原則、補助金の交付決定を受けてから着手するものとし、交付決定前の事前着手は認められません。

☎・☎ 商工振興課 ☎43・9012

宮津・与謝おじい教室の開催について

一般社団法人宮津青年会議所では、子どもたちに職業体験を通じた地域で働くことの楽しさや魅力を学んでいただくことを目的とし、創立50周年記念事業「宮津・与謝おじい教室」を開催します。

日時 10月22日（日） 9時半受付開始

場所 吉津小学校  
対象者 小学生

☎・☎ 宮津青年会議所事務局 ☎22・5203

手機講習会の開催について

古い着物や使わなくなった風呂敷・スカーフなどを再利用し、新しく蘇らせる『裂き織り』手機講習会を実施します。

日時 11月19日（日） 午前10時～午後4時

場所 与謝野町織物技能訓練センター  
講師 手機サークル「ひまわりの木」  
受講料 無料（ただし、裂き織りに使用

込みください。 ※電話受け付けは月・水・金曜日の午前10時～午後3時  
☎ 特定非営利活動法人まるっと丹育 谷口英子氏 ☎080・8313・7760

「第12回与謝野町ビーチボール大会」を開催します

日時 12月3日（日） 午前8時半～正午

場所 岩滝体育館 ※参加費無料  
対象者 町内に住・在勤者で、6人以下で構成する小学4年生以上のチーム

その他 11月29日（水）午後7時半より中央公民館で組み合わせ抽選会および説明会を行います。

☎ 10月20日（金）～11月17日（金）の期間に、教育委員会・町立体育館・中学校体育館にある申し込み用紙に必要事項を記入の上、社会教育課へお申し込みください。

☎・☎ 社会教育課 ☎43・9026

平成30年成人式の開催について

日時 平成30年1月7日（日） ▼受付午後1時～2時 ▼式典午後2時～3時

場所 野田川わくばる  
対象者 平成9年4月2日から平成10年4月1日の間に生まれた与謝野町在住者および親元が与謝野町にある転出者

その他 該当者には、11月下旬ころに与謝野町内の親元へ案内状を送付する予定です（一家転出等の場合は、「相談ください」）。

☎ 質問や「相談」は社会教育課（☎

する材料は各自持参ください。）

受講要件 与謝野町在住の方  
定員 先着15人

☎ 11月13日（月）までに、最寄りの商工会事務所に電話またはFAXでお申し込みください。なお、定員になり次第受付を終了します。

☎ 与謝野町商工会本所（☎43・1020、FAX 42・0737）

きものどぶらりやちりめん街道2017の開催について

日時 10月22日（日） 午前10時～午後3時半

場所 ちりめん街道一帯  
内容 模擬店出店、加悦小・加悦高ハフォーマンス、丹後ちりめん紙芝居等

その他 前々夜祭、前夜祭も開催されます  
☎ 与謝野町観光協会 ☎43・0155

「第29回KYOのあけぼのフェスティバル2017」を開催します

日時 10月21日（土） 午前10時～3時

場所 京都テルサ（京都市南区）  
☎ 京都府男女共同参画課（事務局） ☎075・414・4291

☎ 京都府男女共同参画センターらら京都 ☎075・692・3433

どぶらりやちりめん街道の開催

ランチミーティング形式で町政全般について、きたんの意見伺います。 ※要望や陳情の場ではありません

「行政相談週間」および「行政なんでも相談所」の開設について

10月16日（月）から22日（日）は全国一斉「行政相談週間」です。国や独立行政法人などの仕事やサービスについて、お困りのこと、お尋ねになりたいこととありませんか。当町では「行政相談所・心配ごと相談所」として、毎月3回定例相談所を開設しています。相談は無料で、秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。 ※時間は各会場とも午後1時～3時です。予約不要。

☎ 行政相談所・心配ごと相談所  
日時 ▼10月18日（水） 社協野田川支所  
▼10月25日（水） 加悦庁舎  
▼11月10日（金） 岩滝ふれあいセンター

また、司法書士や税理士が相続手続や労働問題などのお話を伺う「行政なんでも相談所」を開設いたします。予約は不要です。お問い合わせは

京都行政監視行政相談センター（☎075・802・1100）までお願いいたします。

☎ 行政なんでも相談所  
日時 ▼10月20日（金） 午後1時～3時

場所 みやこ歴史の館（3階大会議室）  
☎ 住民環境課 ☎43・9030

家庭向け太陽光発電・蓄電設備導入費補助事業について

与謝野町では、町内にある個人住宅に

日時 10月7日（金）午後0時15分～1時15分

場所 岩滝保健センター  
対象 町在住または在勤する方で構成された団体・個人（先着順）

☎・☎ 10月25日（水） 午後5時までに企画財政課（☎43・9015）へ

平成29年度身体障害者巡回相談について

肢体不自由に関する補装具（義手・義足・装具・車いす・電動車いす等）の利用にかかる相談が次のとおり行われますのでお知らせします。

日時 11月7日（火） 午後1時半～3時  
☎（受付終了時間：午後2時45分）

場所 加悦地域公民館  
☎・☎ 10月31日（火）までに、福祉課障害者福祉係（☎43・9021）までお申し込みください。

子どものアレルギー講演会のお知らせ

お子さんの「湿疹」や「アレルギー」に悩んでいませんか？ 「正しく知ろう、アレルギーのこと」をテーマに子育て講演会を開催しますので、ぜひご参加ください。

日時 11月7日（火） 午後2時～3時半（受付は午後1時45分～2時）

場所 知遊館  
講演内容 「正しく知ろう、アレルギーのこと」ネットや育児雑誌の情報から不安ばかりが大きくなっていませんか？

講師 やまぞえごどもクリニック 院長 山添一郎先生  
その他 ▼講演終了後、個別相談できま

おけるエネルギーの自立化を図ることを目的に、太陽光発電と蓄電池の同時導入を促進するため、費用の一部を補助します。

補助対象者 平成29年4月1日以降、自ら居住する町内の住宅に太陽光発電・蓄電池（未使用品）を同時に設置または増設された方。その他の諸条件に該当する必要があるため、詳しくは住民環境課にお問い合わせください。

☎・☎ 住民環境課 ☎43・9030

「議会懇談会」を開催します

与謝野町議会では、議会の活動を知っていただくとともに、ご意見等を聴き取るため、以下の日程で町民の皆さまとの意見交換を行います。

開催日時 ▼10月16日（月） 藪後集会所  
▼10月17日（火） 男山地区公民館  
▼10月19日（木） 石田地区公民館  
▼10月20日（金） 立町会館  
▼10月23日（月） 石川農構センター  
▼10月24日（火） 上山田地区公民館

※10月25日以降の日程については、町HPまたは9月25日発行広報よさのお知らせ版をご覧ください。

☎ 議会事務局 ☎43・9027

お知らせ

『広報よさのお知らせ版 9月25日号』(No.257)においてお知らせしました「障害者スポーツのつどい（スポーツ教室）について」は、10月22日衆議院議員総選挙投票所として会場が使用されることとなりましたのでお知らせします。



# 海の京都与謝野を満喫！

～海の京都 クルージングフェスタが開催されました～

8月26日、阿蘇シーサイドパーク周辺、知遊館をメイン会場に、海の京都DMOおよび京都府主催、与謝野町共催により「海の京都 クルージングフェスタ」が開催されました。

阿蘇シーサイドパークにはメインステージが設けられ、岩滝長寿会連合会によるオープニングアクトを皮切りに、与謝野舞組爽龍隊によるよさこいや岩屋おどりが披露され、さらに、地元で活躍しているバンドの演奏や京丹後市在住のお笑い芸人による漫才、シンガーソングライター「Rihwa (リファ)」によるスペシャルライブにより会場は大いににぎわいました。イベントの最後には、網野高校によるプロジェクションマッピングと峰山高校弥栄分校によるファッションショーのコラボイベントも行われ、光の饗宴により盛大なフィナーレを迎えました。

また、阿蘇海ではシーカヤックやサップ体験などのアウトドアイベント、知遊館では海の京都エリア（京都府北部5市2町）の高校の吹奏楽部などによる音楽祭、さらに、ちりめん街道では着物の販売や手機体験、ツアーガイドも行われ多くの家族連れでにぎわいをみせました。



①丹後小町踊り子隊による華麗な舞  
②Rihwaによるスペシャルライブで会場は盛り上がりました ③峰山高校弥栄分校の生徒が制作したワンピースに網野高校生徒がプロジェクションマッピングをほどした光の饗宴 ④爽龍隊による迫力あるよさこい ⑤息の合った岩屋おどり ⑥ちりめん街道は浴衣を着た人々ににぎわいました ⑦地元ならではの食べ物や与謝野産ホップを使った地ビールが振舞われました ⑧加悦谷高校合唱部によるアカペラ披露 ⑨オープニングアクトで来場者を魅了した岩滝長寿会連合会のフラダス ⑩nest (旧山與醤油倉庫)ではオーガニックマルシェが開かれました

